

国際ロータリー第2820地区 2025-2026年度

# 地区チーム ラーニングセミナー

国際ロータリー 2025 -2026 年度

会長 マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ

日 時：2025年3月23日(日)

場 所：ホテルグランド東雲

ホスト：水海道ロータリークラブ

ガバナー 大高 司郎

ガバナーエレクト 瀬戸 隆海

地区ラーニングFT 大久保 博之

***UNITE  
FOR  
GOOD***





## R.I. 会長メッセージ

2025-2026年度

国際ロータリー会長

**マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ**

(サント・アンドレ・ロータリークラブ: ブラジル)

敬愛なるガバナーとロータリーリーダーである皆さま、おはようございます。

昨年はこちらに、2024-25年度ガバナーにお集まりいただきました。その際、私は国際ロータリーの会長ノミニーとして、会員増強を私たちの組織の最優先事項であり、最も価値ある資産であり、最大の課題であると強調しました。

そして今日、会長エレクトとして皆さんの前に立っている今、ロータリーの未来を確かなものにするには、組織全体で会員増強に力を注ぐことが不可欠であると、これまで以上に確信しています。

ロータリーの最大の財産は、その歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的広がりでもありません。それは会員です。会員は、地球上で最も有能なボランティアのチームです。私は、アトランタ国際大会で、ポリオ根絶のパートナー団体を代表する人物が、ロータリー会員の並外れた献身を称賛したのを聞いて、このことを学びました。外部団体からそう認められたことで、ロータリーが世界に与えることのできる最大の贈り物は、その会員であるという私の理解が深まりました。

本日は、会員増強と活性化に向けたロードマップについてお話ししたいと思います。このロードマップは、革新、継続性、パートナーシップという、不可欠な三つの柱に基づいています。これらの原則は単なる戦略ではありません。ロータリーを活性化し、新たな声や考え方を取り入れ、世界中の地域社会への奉仕を強化するための行動の呼びかけです。

世界は、劇的なペースで変化しています。テクノロジー、社会の期待、経済状況は常に変化しており、ロータリーもそれに合わせて進化しなければなりません。トーマジ・ディ・ランペドゥーサが『山猫』で書いたように、「すべてを同じままに保つには、すべてを変えなければならない」のです。

革新こそが、変化するこの世界に私たちが適応する手段なのです。若い会員を迎え入れるだけでなく、目的やつながりを求める年配の方々にも参加していただく必要があります。

68歳の私は、仲間たちのコミュニティを見つけることがどれほど充実したものであるかを、身をもって知っています。

私の所属クラブであるサント・アンドレ・ロータリークラブは、150人の会員を擁する活気と伝統のあるクラブです。妻のデニースは、衛星クラブの結成に助力し、50人近い素晴らしい女性たちが自分らしくリーダーシップを発揮できる場を創り出しました。

衛星クラブ、分野特化型クラブ、法人クラブ、パスポートクラブなどは、多様な人びとを惹きつけるために必要な柔軟性の例です。これらのモデルがどこでも通用するわけではありませんが、従来の枠組みにとらわれずに未来のロータリアンに働きかける機会をもたらします。将来のロータリー会員は必ずどこかにいます。私たちは、そこに赴いて彼らを見つける必要があります。



この18カ月間で地球を6周以上した旅の中で、最も健全な地区には、一貫し、団結したリーダーシップという重要な特徴があることに気づきました。ガバナーが前任者の努力を基盤とし、プログラムや戦略が毎年途切れることなく継続されるようにすることで、地区は発展します。一方、トップにおける不和は、時限爆弾のようなものであり、これが会員数の減少という結果を引き起こすことがよくあります。

この旅から得た感動的な瞬間をいくつかご紹介しましょう。ナイジェリアの第9141地区では、サービスの行き届いていない地域に井戸を建設したり、学校に椅子を寄贈したりすることの素晴らしいインパクトを目の当たりにしました。パキスタンでは、2022年の壊滅的な洪水の被災者が、ただ生き延びるだけの生活からより良い未来へと移行できるよう、ロータリーが支援しているスマートビレッジを訪れました。

インドのムンバイでは、ロータリーの補助金で先天性心臓病の治療を受けている子どもたちに会いました。また、別の地域では、緩和ケア病院の外に、がん検診、歯科治療、眼科検診を支援するロータリー財団のロゴが入った救急車が並んでいるのを目にしました。

インドネシアのランブンで、デニースと私は、700世帯の経済が小規模ながら変化し、米を生産する農家の収入が増えるのを目にする機会に恵まれました。

継続性とは、画一性ではなく、連携です。地区リーダー同士が連携し、自分の“ガバナー年度”を越えてロータリーを思い描けば、長期的な成功の土台が築かれます。ロータリーはすでに、毎年リーダーが交代するという独特な課題に直面しています。これ以上、私たちの努力を分散させて、状況をさらに難しくしてはなりません。むしろ、未来のリーダーがさらに発展させていけるような協力の遺産を築いていきましょう。

ロータリーがポリオ根絶活動で培ってきた歴史は、私たちに貴重な教訓を与えてくれます。単独でも大きな成果を上げることができますが、力を合わせれば、世界を変えることができるのです。ゲイツ財団、WHO、UNICEFといった団体とのパートナーシップは、230億ドルを投じて40年以上取り組んできたポリオ根絶活動において極めて重要な役割を果たしました。ロータリーが単独でこれほどまでに大きな進展を遂げることはできなかったでしょう。

それならば、会員増強にもこの教訓を活かすべきではないでしょうか。ビジネス団体、専門職団体、教育機関などと協力することで、ロータリーは職業や考え方の多様性を取り入れながら、質の高い会員を引き付けることができます。このようなパートナーシップは、「量か質か」という誤った二者択一を排除します。奉仕と参画というロータリーの価値観を共有する職業人に働きかけることで、世界でよいことをするロータリーの力を拡大できます。

最終的には、私たちのすべての成果、プロジェクト、パートナーシップは会員にかかっています。会員増強とは単に数字を増やすことではなく、集合体としての私たちの力をさらに高め、ロータリーの使命を継承していくことです。

まず、誰も永遠には生きられないと認識しなければなりません。クラブの高齢化に対する唯一の策は、絶えず新会員を迎え入れることです。

第二に、会員数が増えれば奉仕の力も広がります。会員が増えるということは、奉仕に参加する人が増え、地域社会にさらに多くのリソースを投入できることを意味します。

第三に、後継者育成計画が重要です。クラブは成長するか、衰退するかのいずれかであり、安定した会員基盤というものはありません。



私たちは、会員の勧誘と維持を、ロータリー会員の世代から世代へと受け継がれる中核的価値観としなければなりません。そうすることで、ロータリーが今後数十年にわたって活気とインパクトを維持できるのです。

ロータリー会員は行動人です。私たちは変化が起こるのを待つのではなく、自ら変化を起こします。

行動人とは、何をするのでしょうか。私たちは、よいことのために手を取りあいます。

これが、2025-26年度の会長メッセージです:「よいことのために手を取りあおう」

分断されがちな世界において、ロータリーは団結と希望の光となります。私たちのプロジェクトは、人種、ジェンダー、性別、思想、経済的背景の異なる人びとを結びつけ、世界でよいことをするという共通の目的で私たちを一つにします。ロータリーは、より良い人間となり、人びとに奉仕し、末長いインパクトをもたらすよう、私たちを鼓舞します。

本日この会場を後にする際には、地区でロータリーを成長させるための最善の戦略を学ぶことに焦点を当ててください。ロータリーは、この協議会に多大な時間と資金を投じてきましたが、それはスピーチや派手な演出のためではなく、皆さんが効果的にリーダーシップを発揮するための手段を身につけていただくためです。この投資から得られる見返りは、金銭で測られるものではなく、新会員の入会数、革新的なクラブの創設、奉仕を通じて人々の人生に変化をもたらすことによって測られるでしょう。

そして、この使命を遂行するにあたり、ロータリーの最大の喜びの一つ、すなわち、世界中に友人をつくり、楽しむことを忘れないでください。

成長、奉仕、つながりの旅路を共に歩んでいきましょう。よいことのために手を取りあえるロータリーを築き、すべての人にとってより明るい未来を実現させましょう。



## 地区チームラーニングセミナーによせて

2024-2025年度

国際ロータリー第2820地区

ガバナー **大高 司郎**(高萩RC)

皆さま、本日はお忙しい中、地区チームラーニングセミナー(DTLS)にご参加いただき、誠にありがとうございます。皆さまと共に地区の発展とロータリーの理念の実現に向けて、共に歩んでいくことを大変嬉しく思います。

2025年国際協議会において、マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴRI会長エレクトは、ロータリーの最大の資産は会員であり、「よいことのために手を取りあおう」と呼びかけました。「ロータリーの主体はクラブであり、地区はクラブを支えるために存在」します。クラブの活性化なくして、ロータリーの使命を果たすことはできません。だからこそ、地区の役割はクラブの成長を支援し、より良い奉仕活動の環境を整えることにあります。

ロータリーでは毎年リーダーが交代し、新たな体制が築かれます。しかし、毎年のリーダー交代による分断を避け、長期的な視点で発展を推進することが重要です。地区リーダーが協力し、戦略を継続させることで組織の安定を確保し、より持続的な成長へとつなげることができます。そのためには、クラブや地区の活動が一貫性を持ち、継続的に発展するための仕組みを整えることが求められます。

地区チームが一丸となり、スムーズな引継ぎと確実なサポートを提供することが求められています。ガバナー補佐や地区委員長の皆さまには、各クラブの強みや課題を的確に把握し、必要な支援を提供することが期待されています。クラブの声に耳を傾け、適切な情報やサポートを届け、共に成長することが地区の使命です。

本日の研修では、各委員会の役割や責務を理解し、クラブ支援の具体的な方法を学びます。また、瀬戸ガバナーエレクトが掲げる年次目標を共有し、それを実践につなげるための議論を行います。クラブが直面する課題を共有し、解決策を共に考えることも、本研修の大きな目的の一つです。

地区チームの活動を円滑に進めるためには、密接なコミュニケーションが不可欠です。情報共有を徹底し、クラブと地区が緊密に連携することで、効果的な支援が可能となります。オンライン会議なども活用し、効率的な情報交換を行いましょう。



「ロータリーはクラブが主体」「地区はクラブのためにある」という意識を改めて持ち、クラブ活性化を目指して、それぞれの立場でクラブをどのように支援できるかを考え、積極的に実践していきましょう。

私たちは、同じ目標を持つ仲間です。共に学び、成長し、より良い未来を築いていきましょう。皆さまのご尽力とご協力に感謝申し上げ、研修が実り多いものとなることを心より祈念いたします。



## 地区チームラーニングセミナーに寄せて

2025-2026年度

地区ラーニングファシリテーター

**大久保 博之**（水戸RC）

桜も花盛りの良き日にこのセミナーを迎えられますこと心から嬉しく思います。地区チームラーニングセミナーはガバナーが RI 会長方針を受けて、具現化するとともに、地区の方針や事業や運動を明確にし、地区チームと共有する唯一の機会です。

ロータリークラブは今大きな過渡期に差し掛かっています。今までの地域のリーダーや紳士淑女のサロンであり、奉仕団体で良いのか？あるいは地域のリーダー予備軍や衛星クラブ、ローターアクトをはじめとする若い力を集め奉仕団体として進むのか？ノブレス・オブリージュを必要とするのかしないのか？ DEI はどのように進めるのか、指針に留めるのか？正解はありません。

会員一人一人が考え、それこそ多様なロータリー運動が存在することが大事かもしれません。

結びにいずれの道を選択するにせよ、私は本日お集まりのリーダーの皆様は地区の、メンバーの充実したロータリーライフを保証する責任があります。

大いに議論をし、新しい光を見出せますようによろしくお願い申し上げます。



## 地区チームラーニングセミナーに寄せて

2024-25年度

国際ロータリー第2820地区

ガバナーエレクト **瀬戸 隆海**(水海道RC)

本セミナーを皮切りに、いよいよ2025-26年度ガバナーとしての行事が始まります。本日は、大高ガバナー、大久保ラーニングファシリテーター、地区ラーニング委員各位、パストガバナー諸兄の御指導の下に開催されます。この研修ラーニングセミナーは、地区内ロータリーのリーダーとしてご出向いただきます研修であり、私共々に地区ロータリークラブの先導者として、ロータリー活動を盛り上げていく方針を勧めていく機会であります。

私は2月9日から五日間にわたり、米国オーランドの地において開催された国際協議会に参加してきました。国際協議会はガバナー就任に向けた最後の仕上げとなるラーニングの場であります。そこで、同期のガバナーとなる世界各地のロータリアンと意見を交わし情報共有をしてきました。

マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴRI会長エレクトは10日の開会本会議の席で2025-26年度のRI会長メッセージを「よいことのために手を取りあおう」と発表されました。以前からの情報で、テーマは廃止する、代わってメッセージを出すと同っておりしました。今回のメッセージの発表があった時、テーマとメッセージはどう違うのかという疑問がでました。伺ってみると、テーマはその年度の会長が決めるものであり、メッセージは戦略委員会と公共イメージとエレクトが協議し決めるものだそうです。つまり、内容の重さはメッセージが重いのであります。つまり、ロータリーが長期的戦略に向かって方向を示唆し、継続的なアドバイスを我々に示していると理解します。何はともあれ、私ははとて明快であり、ロータリーとしての奉仕の理念を強調していると感じました。メッセージが発表された瞬間、大きな歓声で会場が沸き立ちました。直訳すると、善いことのために一致団結ではないでしょうか。我々地区内ロータリーが一致団結し、奉仕を推し進めていくのがこの年度の行動指針であると理解いたします。

さらにマリオRI会長エレクトは、ロータリーの最大の財産は会員であり、個々の会員が協力することで世界を変える力があると述べられました。また、成長のための「不可欠な3つの柱」として、革新、継続性、パートナーシップを挙げ、変化する世界に適応し続ける事の重要性を強調しています。このメッセージは、ロータリー会員が団結し、共に善いことを行うことで、地域社会や世界全体にポジティブな変化をもたらすようです。

ロータリーを変えるためには、ロータリアンが変わらなくてはなりません。ロータリーブランドをもってロータリアンとしての理想と責務を外さない限り、自由なロータリー、活発なロータリー、そして楽しいロータリーを推し進めてまいりましょう。



2025-26年度国際ロータリー

マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長メッセージ

**よいことのために手を取りあおう**

**(UNITE FOR GOOD)**



# 2025-26年度の国際ロータリーとロータリー財団の年次目標

## ロータリー行動計画

私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って、行動する世界を目指しています。

より意義あるつながりを育み、奉仕を通じてより持続可能な変化をもたらすためにロータリーを導くのが、私たちの戦略計画である「ロータリー行動計画です。」

この四つの優先事項を指針とすることで、より健全なクラブをつくり、すべての人が積極的に参加できる体験を提供し、行動を通じて持続的な変化を生むために人々を結びつけるという国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを実行することとなります。

### 優先事項1 「より大きなインパクトをもたらす」

- ・ポリオを根絶し、残された遺産を活用する。
- ・ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる。
- ・活動成果を挙げ、それを測る能力を高める。

### 優先事項2 「参加者の基盤を広げる」

- ・会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する。
- ・参加者がロータリーを体験する新しい方法を作り出す。
- ・クラブの柔軟性とアピール力を高める。
- ・インパクトとブランドに対する理解を築く。

### 優先事項3 「参加者の積極的なかわりを促す」

- ・クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する。
- ・個々の参加者をよりよく理解し、サポートする。
- ・個人的/職業的なつながりを築く新たな機会を提供する。
- ・リーダーシップ育成とスキル開発のための学びの機会を提供する。

### 優先事項4 「適応力を高める」

- ・研究と革新、およびリスクをいとわない文化を築く。
- ・ガバナンス、構造、プロセスを合理化する。
- ・意思決定におけるより多様な考え方を育む。



## 地区行動指針

# 時は今 ところ足元 そのことに 打ち込む命 永久の御命 (椎尾弁匡 御作)

### 【解説】

今、何が大切かと考えたとき、結果としてこの一瞬をできる限り努力をする事に尽きるのではないのでしょうか。人は、ついつい先を見て焦ってしまいます。先走ってやらなくてもいいことをして失敗してしまいがちです。でも足もとを確実に固め、ゆっくりといいですから「生ききる」ことです。その打ち込む姿勢が「永遠の命」に帰結していきます。

### 【地区数値目標】

#### ①会員数(ロータリアン・ローターアクト) →『ロータリーの財産』

・地区目標 2,000名

ロータリークラブ(含む衛星クラブ会員) 純増 クラブ会員数×8%

ローターアクト 純増 1名

・特化型の衛星クラブ創立の促進

#### ②ロータリー財団寄付

・年次基金寄付 150ドル/人

・ポリオプラス基金 30ドル/人

・恒久基金(ベネファクター) 各クラブ1名以上

・ポリオ・プラス・ソサエティ(PPS) 現PPS会員+クラブ1名以上

・ポールハリスソサエティ(PHS) 地区100名以上維持

#### ③米山記念奨学会寄付

・会員一人当たり25,000円(普通寄付5,000円：特別寄付20,000円)

#### ④My ROTARYの登録推進と活用促進

・会員登録 全会員の85%以上

ロータリーの情報源でもあり各自のロータリアンとしての資質向上



## 【地区行動指針】

### ①ポリオ根絶のためのプロジェクト

ポリオ根絶はロータリーとしての最優先事項です。ポリオ根絶まであと少しと言いながら、昨年はパキスタンで感染者が多発いたしました。また、ガザ地区でもワクチン由来の患者が流行しました。WHOはワクチン投与を強く訴え、ガザ地区においてポリオワクチン投与のために一時停戦にするほど、世界はポリオ根絶に対して重きを置いています。

地区ではポリオ根絶キャンペーンを世界ポリオデーに合わせ、実行委員会を立ち上げ、地区全体事業としてイベントを実行いたします。

→財団委員会を中心に、地区内各奉仕委員会・米山奨学生を対象、全クラブ。

### ②ウクライナ支援事業のためにICC(国際共同委員会)に設立に参画

当地区はウクライナ紛争が勃発した時から、早急に支援活動を行ってきました。そして、日本国内の多くの地区においても支援を行っています。しかしながら夫々の地区で支援を行うには限度があります。ウクライナは一国で1地区であります。支援を受ける地区と支援する側の地区と協定を交わしICCを立ち上げ、効果的な支援をするよう推し進めていきます。日本国内ではICCを立ち上げたことはありません。日本は戦後80周年という年に、ウクライナ復興のためのICCを立ち上げることは、とても重要な事ではないでしょうか。平和構築のためにご協力をお願いいたします。

さらに、ウクライナ復興のための義援金をお願いいたします。

→国際奉仕委員会

### ③Diversity(多様性)、Equity(公平性)、Inclusion(インクルージョン)の促進

多様性： 全てにおいて門戸を開放する

公平性： 誰もが公平で大切にされる

インクルージョン： 多様性を受け入れ、互いに認め合い、みんなが活躍できる

『四つのテスト』の実施

→クラブ奉仕委員会

### ④公共イメージの向上

会員増強の最大の手段として、ロータリーのイメージ向上があるのではないのでしょうか。

イメージアップの手段としては、様々な媒体はありますが、ロータリーそのものを我々が楽しまなければ、外部の人には伝わらないと思います。

国際協議会において「ロータリー・ブランド」というテーマで話し合われました。いろいろな意見が出されましたが、今一度クラブで、委員会で意見交換していただくことで、公共イメージアップの手段が見えてくると思います。



#### ⑤会員維持率の向上と増強

マリオRI会長は、ロータリーの財産はクラブであり会員であると言っております。しかしながら現時点においては、会員減少は否めないものであります。老朽化したクラブは衰退の岐路に立たされるのであります。唯一復活する手立ては、新しい会員、そして若い世代の会員を増やすのみであります。クラブの次の世代への移行を推し進めるリーダーが必要であります。老朽化したクラブが、それを受け入れないならば新しいクラブを作るべきです。

近年のクラブの形態としては、サテライトクラブ、原因に基づくクラブ、企業クラブ、パスポートクラブ等があります。所謂、特化したクラブであります。特化した衛生クラブも有りでしょう。是非とも、新しい仲間を増やしましょう。

#### ⑥ローターアクトクラブの活性化

将来ロータリアンになるようなローターアクターへの投資であると踏まえ、我々はローターアクトと共に学び、ともに活動することが大切であります。そのためには、多くのメンバーを発掘していくのもロータリークラブとして支援していかなくてはなりません。

#### ⑦青少年育成事業の推進

未来を担うリーダーの育成に努めましょう。インターアクト、RYLA、青少年交換への支援及び協力を強化しましょう。

#### ⑧RLIへの積極的参加

RLIはロータリーにおける最大の指導力育成プログラムです。一人でもロータリーの活動に理解を深め、活力あるクラブ創生に力を出せるよう参加推進をお願いいたします。

#### ⑨メイクアップの奨励

クラブ例会出席は会員としての義務であります。メイクアップは諸事情により出席が叶わないための手段ですが、時には他クラブの情報、会員との交流、そして気付きがあります。自クラブだけでなく、積極的に他クラブに出向いてみましょう。

#### ⑩My ROTARYの活用推進及び『ロータリーの友』の積極的な購読

ロータリーの情報がすべて網羅されております。是非とも、ロータリーの情報源の活用をお願いいたします。

#### ⑪クラブ優秀賞への挑戦

クラブ優秀賞を取ることが目的ではなく、自分たちが目標に向かってどれだけ躍進したかという評価です。それぞれのクラブ活性のために、トライしましょう。

→ガバナー補佐



⑫国際大会への参加

今年度の国際大会は、2026年6月13日～17日に台北(台湾)で行われます。多くの登録をお願いいたします。

⑬ロータリー希望の風奨学金支援の継続

東日本大震災により災害孤児になった青少年への教育支援をいたします。  
一人1,000円の支援を任意でお願いいたします。



**国際委員会**は、2つ以上の国際地区または2つ以上の国の間の関係を促進し、さまざまな国の人々の間で親睦を深め、異文化理解を深め、異なる国のメンバー、クラブ、地区間の絆を強め、国境、大陸、海を越えたネットワークを確立します。

第一次世界大戦と第二次世界大戦後にヨーロッパを統一するために最初の国際委員会（ICC）が結成され、国境を越えた多地区活動の基礎が築かれました。

1950年にフランスとドイツの間で委員会の憲章が発効して以来、ヨーロッパおよび世界中でICCのネットワークが発展してきました。

すぐに、国際ロータリーセンターの2か国のロータリアン、クラブ、地区は、共通の活動に協力することによってのみ、コミュニケーションと相互理解の向上を通じて平和をさらに促進できることに気づきました。

国境を越えたクラブの姉妹提携を皮切りに、寛容と理解の精神のもと、ロータリアン間の国際的な交流が拡大しました。

現在、ロータリー世界全体で推定400のICC関係があり、異文化理解の拡大、国境を越えた友情の構築、国際奉仕を通じて地域社会を強化するパートナーシップの育成に役立っています。

ICC加盟各国の地方支部は、人道的プロジェクトの定義と実施、およびその長期的な持続可能性の確認に協力しています。



## 国際共同委員会 (ICC) の参加に向けて

2820地区では、新井ガバナー年度よりウクライナ支援活動を行っています。当地区以外でもウクライナ支援を行っていますが、それぞれ地区がばらばらに行っている支援活動の窓口を一つにして日本国内の地区が一丸となって支援した方が、よりよい支援につながるのではないかと提案がありました。

そのために国際共同委員会 (ICC) を締結して、国際ロータリーから認められた方がより効果的との結論に至りました。

### 国際共同委員会 (ICC) とは

国際共同委員会 (ICC) は、異文化間の理解を促進します。ICCは、2カ国以上の国にあるロータリークラブや地区が平和の推進、親睦の促進、関係強化のために協力するネットワークです。

締結に当たっては、今回ウクライナの復興支援として平和の推進に特化した事業推進ということで、相手地区 (ウクライナ) と日本国内ロータリークラブの各地区と条約を結びます。このICCは相手 (国) 地区と日本の地区の二地区があれば成立いたします。

- ①日本区内のロータリーは、ICCを締結することについては初めての事でありロータリー日本事務局でも経験はなく、全面的に協力をいただいております。しかしながらICCは最近できたものではなく、古くは第一次世界大戦の時に国を跨ぐロータリーがICCを締結し支援活動を行ったという歴史があります。現在117国の地区同士が、ICCを活用し平和推進、交流を進めております。
- ②ICCは、財団とは別組織であります。ですから、財団の縛りはありません。そして、財団とMOUを締結すれば財団の資金を使うことは可能です。
- ③締結に当たっては、地区内クラブの3分の2以上の賛同を得なければなりません。
- ④事務局については、2520地区多賀城に設立される衛生クラブが担当することに予定されています。このクラブは、ウクライナ人が数名在籍し、更には語学やインターネット等に特化したクラブメンバーが在籍いたします。
- ⑤このICC条約を締結したからと言って、締結した地区は毎年支援をしなければいけないという強制力はありません。ですから、支援についてはその年の地区の方針で決定することが可能です。
- ⑥支援内容は締結相手地区ウクライナ地区と協議し決めていきます。



## 当地区としての取り組みスケジュール

三大セミナーにて、地区方針として説明。

7月のガバナー会の折に、賛同地区とウクライナ地区との懇談会  
第1回会長幹事会、又は地区大会にて決議を行う。

## 現在関心表明地区

|            |            |            |            |            |
|------------|------------|------------|------------|------------|
| 2 5 1 0 地区 | 2 5 2 0 地区 | 2 5 3 0 地区 | 2 5 6 0 地区 | 2 5 7 0 地区 |
| 2 5 9 0 地区 | 2 6 1 0 地区 | 2 7 1 0 地区 | 2 7 7 0 地区 | 2 8 2 0 地区 |



## 地区チームラーニングセミナー 歓迎のご挨拶

国際ロータリー第2820地区  
地区チームラーニングセミナー実行委員長  
**北村 英明**(水海道RC)

2025-26年度国際ロータリー第2820地区役員・委員にご就任される皆様、地区チームラーニングセミナーへのご参加、誠に御苦労様です。そして、ガバナー大高司郎様パストガバナーの皆様・地区ラーニングファシリテーター大久保博之様、本日はご臨席を賜り心より感謝申し上げます。本日はご指導の程よろしくお願いいたします。

本セミナーは、瀬戸隆海ガバナーエレクトが2月に米国オーランドにて開催された国際協議会に参加され学ばれた、次年度国際ロータリー会長マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ様のメッセージを基に地区の指針・目標を発表する機会となります。また、ガバナーエレクトの指針を基に、皆様にとっては地区のリーダーとして各クラブを支援していくための学びの場となります。本日が地区活動の一層の活性化につながる有意義な時間となりますよう御祈念申し上げます。

本セミナーをもって3大セミナーの皮切りとなります。第2820地区にとって実り多き年度になりますこと、そして皆様のご活躍を祈念しまして歓迎のご挨拶とさせていただきます。



## 歓迎のごあいさつ

国際ロータリー第2820地区  
ホストクラブ会長  
**五木田 裕一**(水海道RC)

国際ロータリー第2820地区の歴史を紡いくださいました諮問委員の皆様、地区ラーニングファシリテーター大久保博之様、ガバナー大高司郎様、そして、地区役員、委員の皆様、瀬戸年度に向けて重要な地区チームラーニングセミナーにご参集いただき、ホストクラブを代表し、心から歓迎と御礼を申し上げます。

私はロータリーに入会して15年になります。私共クラブからガバナーを輩出いたしますのは、2001-2002年度の北村パストガバナー以来、約四半世紀ぶりでございます。2人目のガバナーを輩出するわけですが、ご期待に応えられるよう第7分区の皆様のご支援をいただきながら、ホストクラブ全会員の力を結集し取り組んでまいります。

地区役員並びに委員の皆様のご支援を賜り「よいことのために手を取りあおう」が実現され、瀬戸年度が順調に遂行されますよう、皆様のお力添えをお願いする次第です。

本日から来月半ばまでの期間、三大セミナーが行われます。実行委員会として万全の準備で臨むつもりでおりますが、何分不慣れなため至らない面も多々あるかと存じます。その際はロータリーの友情に免じてお許しいただき、皆様にとって実り多いセミナーとなりますようお祈りいたしまして、ホストクラブ会長の挨拶に代えさせていただきます。



## 2025-2026 年度 国際ロータリー第 2820 地区 地区チームラーニングセミナープログラム(DTLS)

2025年3月23日(日)  
会場：ホテルグランド東雲  
(敬称略)

|             |                         |                 |           |        |
|-------------|-------------------------|-----------------|-----------|--------|
| 10:00～10:30 | 登 録                     |                 |           |        |
| 10:30～11:00 | 開会本会議                   | 司会              | 中 山 英 俊   | 水 海 道  |
|             | 点鐘                      | ガバナーエレクト        | 瀬 戸 隆 海   | 水 海 道  |
|             | 開会のことば                  | 実行委員長           | 北 村 英 明   | 水 海 道  |
|             | 国歌ならびにロータリーソング「奉仕の理想」斉唱 |                 |           |        |
|             | 歓迎のことば                  | ホストクラブ会長        | 五 木 田 裕 一 | 水 海 道  |
|             | 諮問委員紹介                  | ガバナーエレクト        | 瀬 戸 隆 海   | 水 海 道  |
|             | ガバナー挨拶                  | ガバナー            | 大 高 司 郎   | 高 萩    |
| 11:00～11:30 | RI会長メッセージと地区方針発表        | ガバナーエレクト        | 瀬 戸 隆 海   | 水 海 道  |
| 11:30～11:40 | 地区における危機管理について          | 危機管理委員長         | 大 野 治 夫   | つくば学園  |
| 11:40～11:50 | 3-Year Targets          | ガバナー            | 大 高 司 郎   | 高 萩    |
| 11:50～12:00 | 地区における戦略計画について          | 戦略計画委員長         | 高 橋 賢 吾   | 水 戸 西  |
| 12:00～12:20 | 規定審議会について               | 規定審議会地区代表議員     | 高 橋 賢 吾   | 水 戸 西  |
| 12:20～12:30 | 諸事お知らせ                  | 司会              | 中 山 英 俊   | 水 海 道  |
| 12:30～13:10 | 分科会(各会場へ) 昼食            |                 |           |        |
| 13:10～      | 各委員会での分科会               | 会場名 別紙          |           |        |
|             |                         |                 |           |        |
|             |                         |                 |           |        |
|             |                         |                 |           |        |
| 13:50～14:10 | 休憩・本会議場へ移動              |                 |           |        |
|             |                         |                 |           |        |
| 14:10～14:50 | ガバナー補佐の方針               | 第1分区ガバナー補佐      | 小 森 勇 一   | 高 萩    |
|             |                         | 第2分区ガバナー補佐      | 野 内 厚 志   | 大 子    |
|             |                         | 第3分区ガバナー補佐      | 金 澤 卓 也   | 水 戸 西  |
|             |                         | 第4分区ガバナー補佐      | 塚 田 晴 夫   | 古 河    |
|             |                         | 第5分区ガバナー補佐      | 野 寺 孝     | 筑 西 きぬ |
|             |                         | 第6分区ガバナー補佐      | 大 堀 健 二   | つくば学園  |
|             |                         | 第7分区ガバナー補佐      | 中 村 康 博   | 牛 久    |
|             |                         | 第8分区ガバナー補佐      | 内 野 芳 男   | 鹿 島 中央 |
| 14:50～15:00 | 地区チームラーニングセミナーについて      | 地区ラーニングファシリテーター | 大 久 保 博 之 | 水 戸    |
| 15:00～15:40 | 総括委員長の方針                | クラブ奉仕総括委員長      | 井 上 誠     | 下 妻    |
|             |                         | 職業奉仕総括委員長       | 安 圭 一     | 水 戸    |
|             |                         | 社会奉仕総括委員長       | 黒 木 雅 宏   | 水 戸 西  |
|             |                         | 国際奉仕総括委員長       | 村 上 義 孝   | つくば学園  |
|             |                         | 青少年奉仕総括委員長      | 宇 留 野 秀 一 | 水 戸 南  |
|             |                         | ローターアクト総括委員長    | 塚 越 俊 祐   | つくば学園  |
|             |                         | ロータリー財団総括委員長    | 大 野 治 夫   | つくば学園  |
|             |                         | 米山記念奨学会総括委員長    | 神 山 芳 子   | 下 館    |
| 15:40～15:50 | 総評                      | ガバナーノミニー        | 藤 木 章 吉   | しもだて紫水 |
| 15:50～      | 閉会のことば                  | 地区資金委員          | 倉 持 功 典   | 水 海 道  |
|             | 点鐘                      | ガバナーエレクト        | 瀬 戸 隆 海   | 水 海 道  |

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.



## 出席者名簿

2025年3月23日(日)  
会場：ホテルグランド東雲

|        | 役 職                               | 氏 名       | 所属クラブ           |
|--------|-----------------------------------|-----------|-----------------|
| 地区諮問委員 | ガバナー(2024-2025年度)・米山記念奨学会担当カウンセラー | 大 高 司 郎   | 高 萩             |
|        | 地区ラーニングFT・クラブ奉仕担当カウンセラー           | 大 久 保 博 之 | 水 戸             |
|        | パストガバナー                           | 塙 東 男     | 笠 間             |
|        | パストガバナー                           | 吉 岡 昭 文   | つ く ば 学 園       |
|        | パストガバナー                           | 北 村 仁     | 水 海 道           |
|        | パストガバナー                           | 片 岡 信 彦   | 土 浦 南           |
|        | パストガバナー                           | 永 井 靖 彦   | 水 戸 東           |
|        | パストガバナー                           | 萩 原 亢 雄   | し も だ て 紫 水     |
|        | パストガバナー                           | 佐 藤 衛     | 水 戸 南           |
|        | パストガバナー                           | 井 上 壽 博   | 水 戸             |
|        | パストガバナー                           | 廣 瀬 昭 雄   | 土 浦             |
|        | パストガバナー                           | 山 崎 清 司   | 古 河 東           |
|        | パストガバナー                           | 野 堀 喜 作   | つ く ば 学 園       |
|        | パストガバナー                           | 長 谷 川 國 雄 | 水 戸 南           |
|        | パストガバナー                           | 白 戸 仲 久   | 古 河 中 央         |
|        | パストガバナー                           | 保 延 輝 文   | 石 岡             |
|        | パストガバナー・奉仕プロジェクト担当カウンセラー          | 高 橋 賢 吾   | 水 戸 西           |
|        | パストガバナー・ローターアクト担当カウンセラー           | 中 村 澄 夫   | 東 海 那 珂         |
|        | パストガバナー                           | 池 田 正 純   | 牛 久             |
|        | パストガバナー                           | 新 井 和 雄   | 下 館             |
|        | パストガバナー・ロータリー財団担当カウンセラー・財団総括委員長   | 大 野 治 夫   | つ く ば 学 園       |
| ガバナー補佐 | 第1分区ガバナー補佐                        | 小 森 勇 一   | 高 萩             |
|        | 第2分区ガバナー補佐                        | 野 内 厚 志   | 大 子             |
|        | 第3分区ガバナー補佐                        | 金 澤 卓 也   | 水 戸 西           |
|        | 第4分区ガバナー補佐                        | 塚 田 晴 夫   | 古 河             |
|        | 第5分区ガバナー補佐                        | 野 寺 孝     | 筑 西 き ぬ         |
|        | 第6分区ガバナー補佐                        | 大 堀 健 二   | つ く ば 学 園       |
|        | 第7分区ガバナー補佐                        | 中 村 康 博   | 牛 久             |
|        | 第8分区ガバナー補佐                        | 内 野 芳 男   | 鹿 島 中 央         |
| 地区役員   | ガバナーエレクト(2024-2025年度)             | 瀬 戸 隆 海   | 水 海 道           |
|        | ガバナーノミニー(2024-2025年度)             | 藤 木 章 吉   | し も だ て 紫 水     |
|        | ガバナーノミニー・デジグネート(2024-2025年度)      |           |                 |
|        | 地区幹事                              | 青 木 正 弘   | 水 海 道           |
|        | 地区幹事                              | 鷺 谷 一 彦   | し も だ て 紫 水     |
|        | 地区幹事                              | 大 河 原 浩   | 高 萩             |
|        | 地区会計長                             | 倉 持 功 典   | 水 海 道           |
|        | 地区資金委員                            | 小 倉 重 則   | し も だ て 紫 水     |
|        | 地区資金委員                            | 石 君 平     | 高 萩             |
|        | ロータリーの友地区代表委員                     | 北 村 英 明   | 水 海 道           |
|        | ロータリーの友委員                         | 糸 川 秀 樹   | し も だ て 紫 水     |
|        | 財団監査委員                            | 増 山 英 和   | 水 戸             |
|        | 財団監査委員                            | 小 野 智 久   | 日 立             |
|        | RLI委員長                            | 桒 原 智 恵 子 | 水 戸 西           |
|        | 地区戦略計画委員                          | 柿 沼 利 明   | 古 河 東           |
|        | 地区戦略計画委員                          | 長 野 久 嗣   | 水 戸             |
|        | 地区立法案検討委員会委員                      | 土 田 次 郎   | 古 河 中 央         |
|        | 地区立法案検討委員会委員                      | 片 岡 宗 厳   | 水 戸             |
|        | 地区立法案検討委員会委員                      | 謝 佳       | 茨 城 ロ ー タ リ ー E |
| ホスト    | 実行委員長                             | 北 村 英 明   | 水 海 道           |
|        | ホストクラブ会長                          | 五 木 田 裕 一 | 水 海 道           |
|        | ホストクラブ会長幹事                        | 大 澤 清     | 水 海 道           |

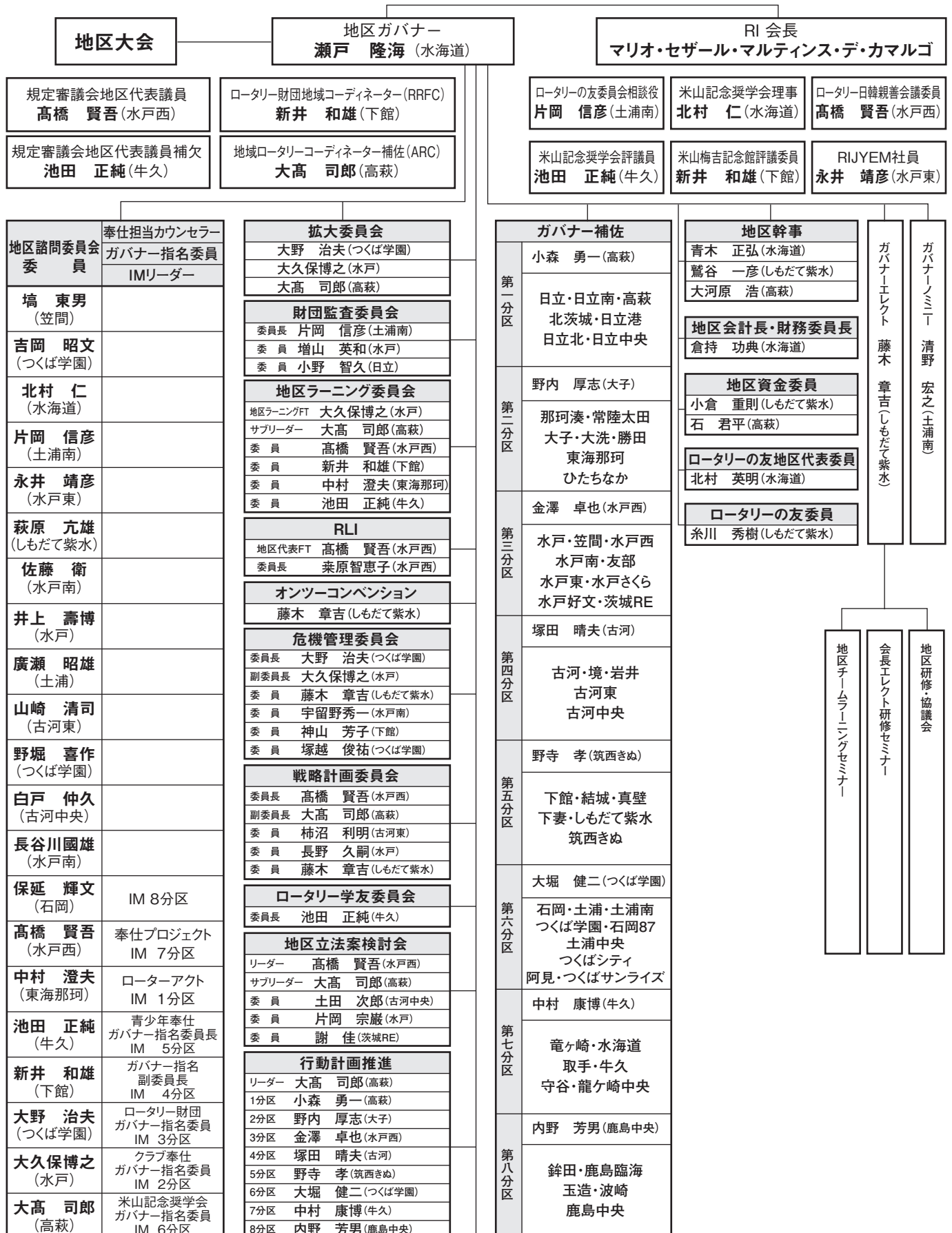


| ク ラ ブ 奉 仕                                      |         | 総括委員長：井 上 誠（下妻）      |                 |                    |
|------------------------------------------------|---------|----------------------|-----------------|--------------------|
| 会 員 増 強                                        |         | ○熊木善一（古河）            | 片岡宗厳（水戸）        | 新井 誠（しもだて紫水）       |
|                                                |         | 篠原純一（境）              | 杉山吉彦（下館さくら衛星）   | リュウキンガー（下妻さぬま湖畔衛星） |
|                                                |         | 山田広美（下妻さぬま湖畔衛星）      |                 |                    |
| ク ラ ブ サ ポ ー ト                                  |         | ○鈴木敏雄（古河）            | 和泉好一（土浦南）       | 緒方惟文（水戸東）          |
| 公共イメージ・ICT 推進                                  |         | ○林 正太郎（水戸）           | 滝 徳宗（高萩）        | 松野祐介（水戸さくら）        |
|                                                |         | 山崎哲男（水海道）            | 富岡致知（下妻）        |                    |
| 職 業 奉 仕                                        |         | 総括委員長：安 圭 一（水戸）      |                 |                    |
|                                                |         | 中村 潤（古河中央）           | 征矢 亘（日立）        | 片桐武美（守谷）           |
|                                                |         | 荒野吉男（鉾田）             |                 |                    |
| 社 会 奉 仕                                        |         | 総括委員長：黒 木 雅 宏（水戸西）   |                 |                    |
| 研 究 会 担 当                                      |         | 小野智久（日立）             |                 |                    |
| 地 区 補 助 金 担 当                                  |         | 根本ひろ美（水戸東）           | 川島紀文（牛久）        |                    |
| 奉 仕 事 業 担 当                                    |         | 關本淳一（土浦）             |                 |                    |
| 国 際 奉 仕                                        |         | 総括委員長：村 上 義 孝（つくば学園） |                 |                    |
| WCS・グローバル補助金担当                                 |         | 松本幸子（古河東）            |                 |                    |
| 共同国際交流                                         | フィリピン担当 | 柴山博光（友部）             |                 |                    |
|                                                | タイ担当    | 録田幸裕（水戸南）            |                 |                    |
|                                                | ネパール担当  | 中島賢一（土浦）             |                 |                    |
| 青 少 年 奉 仕                                      |         | 総括委員長：宇 留 野 秀 一（水戸南） |                 |                    |
| イ ン タ ー ア ク ト                                  |         | ○柴沼博之（土浦南）           | 石井秀明（東海那珂）      | 塙 主税（水戸西）          |
|                                                |         | 山西 裕（水戸）             | 野口 均（しもだて紫水）    | 菅原光雄（日立港）          |
| 青 少 年 並 び に ラ イ ラ                              |         | ○渡部俊介（石岡 8 7）        | 鈴木淑登（高萩）        | 広瀬貴之（つくば学園）        |
|                                                |         | 石塚 徹（水海道）            |                 |                    |
| 青 少 年 交 換                                      |         | ○軽部守彦（下妻）            | 飯泉智弥（つくば学園）     | 中庭浩美（水戸南）          |
|                                                |         | 藤木章吉（しもだて紫水）         |                 |                    |
| ロ ー タ ー ア ク ト                                  |         | 総括委員長：塚 越 俊 祐（つくば学園） |                 |                    |
|                                                |         | 有金重幸（日立中央）           | 横須賀 靖（水戸）       | 楠 英夫（土浦南）          |
|                                                |         | 皆葉真治（つくば学園）          | 飯田大樹（古河中央）      | 杉山吉彦（下館さくら衛星）      |
|                                                |         | 水村成也（土浦南 RAC）        |                 |                    |
| ロ ー タ リ ー 財 団                                  |         | 総括委員長：大 野 治 夫（つくば学園） |                 |                    |
| ポ リ オ プ ラ ス                                    |         | ○関 康彦（水戸）            | 倉持悦子（しもだて紫水）    | 木村英博（つくば学園）        |
|                                                |         | 鐵屋竜朗（つくばシティ）         |                 |                    |
| 資 金 管 理・推 進                                    |         | ○秋葉良孝（水戸）            | 八木健二（日立）        | 瀬戸口 進（つくば学園）       |
| 補 助 金 担 当                                      |         | ○菊池泰正（土浦）            |                 |                    |
| 地 区 補 助 金 担 当<br>申 請<br>申請補                    |         | ○椿 眞里（北茨城）           |                 |                    |
|                                                |         | 清藤 豊（水戸東）            |                 |                    |
|                                                |         | 池田一郎（つくば学園）          |                 |                    |
| グ ローバル補助金担当<br>人道支援担当<br>奨学金・学友担当<br>V T T 担 当 |         | ○尊田京子（つくばサンライズ）      |                 |                    |
|                                                |         | 中野 勝（つくば学園）          |                 |                    |
|                                                |         | 田上悟史（水戸西）            |                 |                    |
|                                                |         | 岡村太郎（水戸南）            |                 |                    |
| ロータリー平和フェローシップ                                 |         | ○木村英博（つくば学園）         |                 |                    |
| ロータリーカード推進                                     |         | ○白岩大樹（牛久）            |                 |                    |
| 米 山 記 念 奨 学 会                                  |         | 総括委員長：神 山 芳 子（下館）    |                 |                    |
| 米 山 寄 付 推 進                                    |         | ○草野朋子（常陸太田）          | 江田治雄（下妻）        | 斉藤百合子（古河）          |
| 米 山 学 友                                        |         | ○岩田光造（水戸東）           | 張 朔源（茨城ロータリー E） | 高野和彦（土浦南）          |
| 米 山 選 考                                        |         | ○佐谷道造（古河東）           | 藤澤昭彦（土浦）        | 中山眞矢（水戸西）          |
|                                                |         | 前田成子（玉造）             |                 |                    |



## 2025-2026年度 国際ロータリー 第2820地区

## 瀬戸年度地区組織図





## 2025-2026年度 国際ロータリー 第2820地区

## 瀬戸年度地区組織図

○委員長

| クラブ奉仕担当カウンセラー                         | 奉仕P担当カウンセラー                              | 青少年奉仕担当カウンセラー                           | ローターアクト担当カウンセラー                             | ロータリー財団担当カウンセラー                             | 米山奨学会担当カウンセラー                            |
|---------------------------------------|------------------------------------------|-----------------------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|------------------------------------------|
| 大久保博之<br>(水戸)                         | 高橋 賢吾<br>(水戸西)                           | 池田 正純<br>(牛久)                           | 中村 澄夫<br>(東海那珂)                             | 大野 治夫<br>(つくば学園)                            | 大高 司郎<br>(高萩)                            |
| <b>クラブ奉仕</b><br>総括委員長<br>井上 誠<br>(下妻) | <b>職業奉仕</b><br>総括委員長<br>安 圭一<br>(水戸)     | <b>青少年奉仕</b><br>総括委員長<br>宇留野秀一<br>(水戸南) | <b>ローターアクト</b><br>総括委員長<br>塚越 俊祐<br>(つくば学園) | <b>ロータリー財団</b><br>総括委員長<br>大野 治夫<br>(つくば学園) | <b>米山記念奨学会</b><br>総括委員長<br>神山 芳子<br>(下館) |
| <b>会員増強</b><br>○熊木 善一<br>(古河)         | 中村 潤<br>(古河中央)                           | <b>インターアクト</b><br>○柴沼 博之<br>(土浦南)       | 有金 重幸<br>(日立中央)                             | <b>ポリオプラス</b><br>○関 康彦<br>(水戸)              | <b>米山寄付増進</b><br>○草野 朋子<br>(常陸太田)        |
| 片岡 宗厳<br>(水戸)                         | 征矢 亘<br>(日立)                             | 石井 秀明<br>(東海那珂)                         | 横須賀 靖<br>(水戸)                               | 倉持 悦子<br>(しもだて紫水)                           | 江田 治雄<br>(下妻)                            |
| 新井 誠<br>(しもだて紫水)                      | 片桐 武美<br>(守谷)                            | 塙 主税<br>(水戸西)                           | 楠 英夫<br>(土浦南)                               | 木村 英博<br>(つくば学園)                            | 斉藤百合子<br>(古河)                            |
| 篠原 純一<br>(境)                          | 荒野 吉生<br>(鉾田)                            | 山西 裕<br>(水戸)                            | 皆葉 真治<br>(つくば学園)                            | 鐵屋 竜朗<br>(つくばシティ)                           | <b>米山学友</b><br>○岩田 光造<br>(水戸東)           |
| 衛星クラブ担当<br>杉山 吉彦<br>(下館さくら衛星)         | <b>社会奉仕</b><br>総括委員長<br>黒木 雅宏<br>(水戸西)   | 野口 均<br>(しもだて紫水)                        | 飯田 大樹<br>(古河中央)                             | <b>資金管理・推進</b><br>秋葉 良孝<br>(水戸)             | 張 朔源<br>(茨城RE)                           |
| リユー クイン ガー<br>(下妻さぬま湖畔衛星)             | <b>研究会担当</b><br>小野 智久<br>(日立)            | 菅原 光雄<br>(日立港)                          | 杉山 吉彦<br>(下館さくら衛星)                          | 八木 健二<br>(日立)                               | 高野 和彦<br>(土浦南)                           |
| 山田 広美<br>(下妻さぬま湖畔衛星)                  | <b>地区補助金担当</b><br>根本 ひろ美<br>(水戸東)        | <b>青少年並びにライラ</b><br>○渡部 俊介<br>(石岡87)    | 水村 成也<br>(土浦南 RAC)                          | 瀬戸口 進<br>(つくば学園)                            | <b>米山選考</b><br>○佐谷 道造<br>(古河東)           |
| <b>クラブサポート</b><br>○鈴木 敏雄<br>(古河)      | 川島 紀文<br>(牛久)                            | 鈴木 淑登<br>(高萩)                           |                                             | <b>補助金担当</b><br>○菊池 泰正<br>(土浦)              | 藤澤 昭彦<br>(土浦)                            |
| 和泉 好一<br>(土浦南)                        | <b>奉仕事業担当</b><br>關本 淳一<br>(土浦)           | 広瀬 貴之<br>(つくば学園)                        |                                             | <b>地区補助金担当</b><br>○椿 眞里<br>(北茨城)            | 中山 眞矢<br>(水戸西)                           |
| 緒方 惟文<br>(水戸東)                        | <b>国際奉仕</b><br>総括委員長<br>村上 義孝<br>(つくば学園) | 石塚 徹<br>(水海道)                           |                                             | <b>申請</b><br>清藤 豊<br>(水戸東)                  | 前田 成子<br>(玉造)                            |
| <b>公共イメージ・ICT推進</b><br>○林 正太郎<br>(水戸) | <b>WCS・グローバル補助金担当</b><br>松本 幸子<br>(古河東)  | <b>青少年交換</b><br>○軽部 守彦<br>(下妻)          |                                             | <b>申請補</b><br>池田 一郎<br>(つくば学園)              |                                          |
| 滝 徳宗<br>(高萩)                          | <b>国際交流奨学金担当</b><br>松本 幸子<br>(古河東)       | 飯泉 智弥<br>(つくば学園)                        |                                             | <b>グローバル補助金担当</b><br>○尊田 京子<br>(つくばサンライズ)   |                                          |
| 松野 祐介<br>(水戸さくら)                      | <b>国際交流共同担当</b><br>柴山 博光<br>(友部)         | 中庭 浩実<br>(水戸南)                          |                                             | <b>人道支援</b><br>中野 勝<br>(つくば学園)              |                                          |
| 山崎 哲男<br>(水海道)                        | <b>フィリピン担当</b><br>録田 幸裕<br>(水戸南)         | 藤木 章吉<br>(しもだて紫水)                       |                                             | <b>奨学金・学友</b><br>田上 悟史<br>(水戸西)             |                                          |
| 富岡 致知<br>(下妻)                         | <b>タイ担当</b><br>中島 賢一<br>(土浦)             |                                         |                                             | <b>VTT担当</b><br>岡村 太郎<br>(水戸南)              |                                          |
|                                       | <b>ネパール担当</b>                            |                                         |                                             | <b>ロータリー平和フェロシップ</b><br>○木村 英博<br>(つくば学園)   |                                          |
|                                       |                                          |                                         |                                             | <b>ロータリーカード推進</b><br>○白岩 大樹<br>(牛久)         |                                          |

[illegible]



## 地区チームラーニングセミナー出席報告

御 芳 名

---

所属クラブ

RC

---

職 業 分 類

---

地区チームラーニングセミナーにご出席くださいますてありがとうございました

2025 年 3 月 23 日 (日)

於：ホテルグランド東雲

国際ロータリー第2820地区

地区幹事 **青木 正弘**



## 国際ロータリー第2820地区 ガバナー事務所

〒303-0023

茨城県常総市水海道宝町 3386 釜久ビル 3F

TEL : 0297-21-3655

Fax : 0297-21-3654

E-mail 25-26@rid2820.jp